

第 6 回 花火大会検証会議

会議録

【日時】 令和 7 年 12 月 3 日（水） 14:30～15:30

【場所】 福知山市防災センター 防災研修室

【出席者】（委員） 8 名（別紙参照）

（事務局） 産業部 西畑部長

商業観光課 森田課長、田中係長

1 開会

2 開会挨拶

会 長：前回会議では、「現地検証結果（最終案）」、「今後の花火大会のあり方」、「検証会議報告書（案）」について議論を行った。「現地検証結果」については、本日の会議までに事務局より、委員の皆様には修正案を提案し、承認をいただいているので報告する。なお、確定版の「現地検証結果」を委員の皆様には配布している。本日は次第の 4「協議事項」において、「花火大会検証会議報告書（案）」について協議を行いたいと思う。

3 報告事項

（1）関係機関からの報告について

会 長：福知山警察署地域課から報告いただく。

警察署：花火大会の検証会議の結果の中で、「雨のために花火の開始時間を遅らせて入場時間を延長したことで安全に開催できた」などの記載があるが、確かにそれは大きな要因だと思うが警察署としては以下の 3 点を申し上げたい。1 点目は、雨だけでなく昨年行われなかった盆踊りなどを盛り込んだことも考えるべきではないかというところである。今回の花火大会は打ち揚げ時間の間に人が押し寄せて、入場ゲートに人が滞留していたことから打ち揚げ時間を遅らせて実施した。この原因がこれまでの検証会議の結果を見ると、「雨のため」の 1 点の原因だけのように扱われているが、その他の原因を検討する必要があるのではないかということである。例えば、直前に行われた盆踊りや継続して行われた露店などがあげられるのではないかと思う。盆踊りについては、去年はなく今年から花火大会にあわせて始めたもので、直前に行ったことで盆踊りを見て

から観覧席に移動したことが原因の 1 つとも考えられるのではないかということである。露店については、事前に協議の中で分散を目的として、露店の終了時間を花火打ち揚げ開始時間としていたが、打ち揚げがっても続けていたというところで、打ち揚げ時間と同時に人が移動したのではないかということも考えられる。このことは来年の花火大会に向けて検証して改善していかなければいけないところかなと思ったので申し上げさせていただく。2 点目は、時間変更も計画の中に入れておく必要があるということである。安全を優先して花火打ち揚げ時間を遅らせることは考えられるが、その後の計画すべてを遅らせることは雑踏事故のリスクが高まることから避けるべきと思われる。また、住民の理解ありきで成否が問われる大規模なイベントであることから打ち揚げを遅らせるにしても、各種許可を取っている範囲内に留めておき、その後の雑踏計画を踏まえて、終了時間の変更は避けるべきと思う。道路の規制の終了時間、花火の打ち揚げ終了時間は変更すべきではないということである。例えば、今回のように 13 分遅らせたとしても打ち揚げの終了時間、道路規制時間は計画通りとするなど雑踏事故が発生しない対策を構築することが必要ではないかということである。3 点目のその他は、小さく 2 点ある。先ほどの 1 点目、2 点目の改善点のようなものだが、緊急の入場ゲートの確保、受付方法の見直しが必要ではないかと思われる。今回は入場ゲートに長蛇の列ができる状況があったので、再入場のシステムをリストバンドのようなもので判断するのではなく、例えばブラックライトのように簡単に進められるようなものを使ったシステムに変更するなど、スムーズに入場できるような対策も必要と思われる。これは 1 つの案であって、色々な案があると思うので来年は改善したほうがよいと思われる。2 点目は、計画の変更時には警察署、消防署等との協議が必要ではないかということである。今回、花火の打ち揚げ時間を 13 分遅らせたが、重要事項の変更に際しては実行委員会のみで判断するのではなく、警察署、消防署を含み治安対策に従事するもので、協議して決定すべきではないかということである。以上の 3 点を警察署から来年に向けて検証会議に申し入れさせていただく。

会 長：警察署からの報告事項について、何か質問、意見はないか。質問がなければ報告事項は終了する。

4 協議事項

(1) 花火大会検証会議報告書（案）について

事務局：資料 1「花火大会検証会議報告書（案）」に基づき説明

会 長：事務局から説明があった報告書（案）について、項目ごとに分けて意見交換を行いたいと思うがよいのか。

委 員：異議なし。

会 長：「はじめに」の部分について意見はないか。

委 員：なし。

会 長：次に「検証会議の開催等経過」について意見はないか。

委 員：なし。

会 長：次に「議論の経過（1）」～「議論の経過（5）」について意見はないか。

委 員：9ページの項目④安全確保対策の露店対策「露店を出店させる場合は、安全対策や雑踏対策を徹底したうえで、混雑解消のため必要な対策を講じること」の部分について、安全対策として今回は安全講習を事前に受講することが露店出店の条件にしていたと思う。しかし、それをきちんと適切に運用できていたかどうかのチェックができていたのか職員の方に確認させていただいた。消防の方は、その点は露店の方の個人の責任だということで、消防の方が露店営業時間中に見回りをするとはされていなかったというような回答があった。講習を受けるのはもちろんだが、それを適切に守って行っていたかどうかを途中で確認するチェック機能をシステムとして導入することが安全対策を満たすことになるのではないかと思う。このページの下の検証会議の判断のところの露店対策で「出店者に消防署主催の屋外イベント等防火安全講習の受講を義務付けるなど、安全対策を講じた」とあるが、そのチェックをしていないというのは今後の課題になるのではと思う。この提案が妥当だと判断いただけるのであれば、これに付随して後の該当箇所も少し追記していただくことになると思う。ここに入れるべきなのかどうかとも含めて提案させていただければと思う。

会 長：この点に関して何か委員の方、意見はないか。

事務局：露店については、営業を始められる前に消防が店舗ごとにチェックされており、営業が始まった後も消防署職員が様子を見に行き、配置方法を変えていないかなどチェックされていた。おそらく事務局の方から委員に間違った伝え方をしていたと思うので訂正をさせていただく。

会 長：受講したことに対して指導しているということ、そして確認も最終的にされているということになる。ただ、大変重要な意見だと思うので、どこかに具体的な防火安全講習とか、その他例えば関係者会議などで出席していたとか、色々、各場面において露店だけに関わらず色々なものを事前に調整するところで、何か中間的な検証、チェック機能も必要なのではということである。

委 員：消防署が一番よいと思うが、火気を取り扱う専門の方がきちんと適切に火気に関して運用できていたか確認を行われていたのであれば継続していただければよいと思う。

会 長：他の委員の方、何か意見はないか。

副会長：去年の報告書では「引き続き火気はIHと炭に限定することが望ましい」とな

っているが、今年の報告書案はそうになっていないので事務局に確認すると、限定していないみたいなことだったと思うが、実際の所 IH と炭以外だったらガスになるのかなと思う。露店の判断にある程度、ゆだねているのか。何を聞きたいかという、去年みたいに「火気は IH と炭に限定することが望ましい」と、なぜ今年は書けないのかなというところである。

会 長：いかがでしょうか。

事務局：この取りまとめについては、委員の皆様の議論の中身をこちらでまとめているので、「火気は IH と炭に限定することが望ましい」というような意見は、今回の会議ではいただいていたと思うので、そのような記載はしていない。

会 長：来年は事故の原因となったガソリンを入れて自家発電でということも出てくるということなのか。

事務局：プロパンガスはともかくとして、ガソリンの使用に関しては過去の事故の関係もあり、市の考え方として一定の方向性を出していく必要があると考えている。

会 長：報告書に記載しなくても、開催まで各関係機関の協議で調整する中で、なるべく IH と炭にしてくださいというような指導が入ることなのか。

事務局：そういうことになる。中身については、報告書を原則として、市の考え方の方でこれから各関係機関と協議したうえで出していきたいと思っている。そこには先ほど警察署からいただいた申し出の内容も含める。申し出の内容については概ね報告書と同じ歩調になっていると考えている。今言われた IH と炭、その他についても、どういう書き方にするかは協議によるが、一定の方向性を出していきたいと考えている。

会 長：委員の方、何かあるか。

委 員：今の話に付随してだが、去年の報告書の提案としては IH と炭ということだったが、今回そこにプロパンガスが、追加されたということではよかったか。

事務局：各露店がどのような火気を使っていたかということは、手元の資料にない。

委 員：ガスバーナー的なコンロなど、何かガスを使った形で今年はされていたところがあったと思う。確か事前に検証会議に参加させていただく最初のところで、今年はプロパンガスも使うという話も聞いていたと思う。今回はプロパンガスを使っても事故なくでき、実証できたということであるが、そこについての事前の安全に対する講習、プロパンガスをこのように扱ってくださいという指導は実際に行われていて、その通りにきちんと運営できていたから事故なくできたということか。プロパンガスを使うことが今回問題ないということだったので、来年以降もプロパンガスをきちんと安全に使用できるということであれば問題ないと思う。このプロパンガスがきちんとマニュアルに基づいて実践されていればよいと思うが、たまたまよかったのであれば、例えばガスを通すホースに何かしら刃物などが落ちたりしてガスが漏れて、引火の原因になるなどが

懸念されると思うので、安全が確保できているかどうかが重要なポイントになると思った。

会 長：22 ページの露店についての提案に「②取り扱う火気の種類は、安全対策等を踏まえて、関係機関と協議し決定すること」とある。IH か炭か、プロパンガスとかは決まっていないと思う。今年は安全に行われたから他の火気を追加するとかはこれから各関係機関と協議して決定するという趣旨だと思うが、それでいいかがか。22 ページの下に 4 行 5 行の空白があるので、先ほどの事前講習会のチェック機能とかを追記してはどうか。火気の部分や安全対策の事前講習、事後研修を含めて、講習内容が相手にうまく伝わったのかどうかというシステムがあるかということを書いていただくことでよいか。

委 員：よい。

会 長：9 ページの内容は変更せずに、22 ページに記載するということでよいか。

委 員：よい。

会 長：次に「議論の経過（6）」について意見はないか。

委 員：先ほど警察署から話があった開始時間が遅れたところで、12 ページの（6）の結論の部分は「降雨の影響で」と断定的な表現になっているが、警察署が言われた通り盆踊りを直前にしていたことや露店の営業も開始時間を遅らせた要因になった可能性もあるので、「降雨等の影響」とか他のことも含むような表現に変えた方がよいと思う。

会 長：委員の提案に対し何か意見はないか。

委 員：ない。

会 長：「降雨等の影響」ということで事務局の方、よいか。

事務局：よい。

会 長：他に気になったところはないか。ないようなので、先ほどの「など」の追加以外は原案のままで行きたいと思う。次に、「議論の経過（7）」について何か意見はないか。

委 員：ない。

会 長：次に「提案内容」について何か意見はないか。

委 員：20 ページの下から 9 行目に「昨年より来場者数が増えたことでマナーが悪かったという評価もある」と書かれている。確かに来場者数が増えればそのようなことも考えられるが、その上段の「路上での立ちたばこなど、昨年と異なる観客層が観覧していた」とひとくくりにした形で、昨年よりも来場者が増えた分、マナーが悪かったというようになっている。これは昨年度より増えた分がマナーが悪かったというようにとられることはないかと思う。23 ページの提案 6-1「マナーの徹底を来場者に呼びかけること」があるので、20 ページの言い回しを活字で残すのであれば、年々来場者が増えるとマナーが悪い

人が増えてくるという関係になる。一般市民の感覚としてそれはどうなのかというところがあるので、言葉を変えた方がよいのではと感じた。

会 長：この点について何か意見はないか。確かに来場者が増えてその分、マナーが悪くなったという根拠はないので、ここは変更した方がよいと思う。23 ページの提案 6 とその下の部分はこのままでよいか。

事務局：確認だが、23 ページに「観覧者が増加しているため、マナーの徹底を」と記載はしているが、増加している人が悪いとは書いていないので、これはこのままでよかったか。

委 員：説明の仕方が悪かったかわからないが、23 ページに書かれていることも同じことではないかと思う。「観覧者が増加しているため、マナーの徹底を様々な媒体を活用して呼びかけること」は、文脈からすると 1 つの流れと一緒にある。20 ページに書いてあることと同様である。①に書かれている「観覧者が増加しているため」というのは、20 ページの部分をそのまま持ってきて並べているということになるので、一般市民に与える影響を考えると活字で残すとどうなのかなと思う。

会 長：20 ページと 23 ページの表現を事務局のほうで角が立たないようにしていただくことでよいか。他にないか。

委 員：「立ちたばこ」という表現は普通なのか。「くわえたばこ」とか「路上での喫煙」が適切ではないか。

会 長：ここは自分が付け足した部分である。「立ちたばこ」、「くわえたばこ」を検索すると、どちらもよいようである。去年の開催が完璧でよいものだった。確かに観客の増加が悪化したことに繋がらないが、これから規模が大きくなると色々な問題があり、管理できる部分と管理できない部分が出てくるということで、書かせていただいた。角が立たない表現にさせていただいて問題ないので事務局に一任したいと思う。他に何かないか。報告事項のところで警察署から私たちが見えない様々な部分の現場から情報がインプットされた。市の関わり方についての①「市の関わり方については、主催者の意見も踏まえて、関係機関等で協議して決定すること」は、もう少し詳しく書いていただきたいと思う。花火を揚げるためには消防署、警察署、国土交通省などに色々な許可をいただかなければならない。警察署から報告があったことなどを踏まえて、各関係機関と協議する際には実質的にコントロールする。私たちの委員会は実質的に実行委員会とか観客に何かできる権限はなく、実質的に実力を持って色んなことをやっていただける関係機関と市が中心となって協議して、より実質的な安心安全のための花火の打ち揚げにさせていただきたいと思う。事務局はそれでよいか。

事務局：よい。

会 長：委員の方もそれでよいか。

委 員：よい。

会 長：他に「提案内容」について意見はないか。

委 員：警察署の考えをどれくらい提案内容に記載すればよいのかと思う。降雨による開始時間の延長だけではないという点、盆踊りや露店営業の影響、それから時間変更も計画の中に入れておくべきだということで、それは許可の範囲内に留めておくべきだという点についてである。そしてその他として2点あった。再入場のシステムとして、リストバンドでは混雑の原因になるではないか、代替手段も検討すべきとか、重要事項の変更に関しては、警察、消防とかと協議するべきなどがある。これらの趣旨をこの提案内容の中に記載すべきなのかということについて、どのようにお考えか。

会 長：委員からの提案について何かないか。20ページの「安全対策等について」の所に福知山警察署からの話も含めて入れていただくとよいと思うが、いかがか。

委 員：よい。

会 長：他に「提案内容」についてないか。

委 員：ない。

会 長：次に「おわりに」について何か意見はないか。

委 員：最後の3行は文章が引っかかって読みにくかった。例えば、「本報告書が福知山市で開催される花火大会のさらなる」で、「さらなる」を使っているが、「さらなる」は順番に上げていくことだと思う。例えば「福知山市で開催される花火大会のさらなる安心安全の確保と適切な管理、そして持続可能な開催へとつながることを期待する」とか上がってくれた方が文章的にはよいと思う。

会 長：この点について何か他の委員のいないか。

委 員：ない。

会 長：事務局の方、何か希望を持てるような内容にするようお願いする。「おわりに」について他にないか。

委 員：12段目の「しかし」からのところ、「規模の拡大に伴い観覧者が増加したことや直前の降雨により」となっているが、「直前の降雨等の影響により」とし、降雨に限定されているところを他の原因も考えられる表現に変えていただきたい。

会 長：提案について他の委員の方からないか。なければ、降雨だけではないということなので「降雨等」とか他の原因もあることを表記していただければと思う。24ページ目の「おわりに」について他にないか。これで終わりでよいか。

委 員：よい。

5 その他

会 長：全体を通して何か意見、感想はあるか。

委 員：ない。

会 長：本日の議論をもとに、事務局において報告書案の修正作業を行い、できれば12月末までに市長に報告書の提出を行いたいと思う。皆様にご参集していただき会議を開催することは日程的に難しいと思うので、報告書の修正確認については、事務局による委員の皆様への個別の説明と承認をいただくということによいか。

委 員：よい。

会 長：それでは、修正確認、承認は委員の皆様でお願いしたいと思う。市長への報告書の提出日については、事務局を通じて日程調整を行い、日程が決まり次第、委員の皆様と報道機関の皆様にお知らせしたいと思う。その他、ご意見がなければ、協議を終了する。

6 閉会